

一関市議会 議会運営委員会 記録

会議年月日	令和4年6月23日(木)			
会議時間	開会	午後0時15分	閉会	午後0時33分
場所	全員協議会室			
出席委員	委員長 佐藤 浩		副委員長 岩 渕 優	
	委員 岡田 もとみ		委員 千田 恭平	
	委員 千葉 大作		委員 小野寺 道雄	
委員外議員	議長 勝浦 伸行		副議長 千葉 幸男	
遅刻	遅刻 なし			
早退	早退 なし			
欠席委員	欠席 なし			
事務局職員	八重樫事務局長、細川事務局次長兼庶務係長、熊谷局長補佐兼調査係長、栃澤議事係長			
出席説明員	なし			
本日の会議に付した事件	議会改革について (1) 議会のICTの推進について (2) 議会の業務継続計画について			
議事の経過	別紙のとおり			

## 議会運営委員会記録

令和4年6月23日

(午後0時15分 開会)

委員長 : ただいまの出席委員は6名であります。

全員の出席ですので、これより議会運営委員会を開会いたします。

録画、録音、写真撮影を許可しておりますので、御了承願います。

本日の案件は、御案内のとおりです。

初めに、議会のICTの推進についてを議題といたします。

オンライン会議の導入に当たり、委員会条例、会議規則の改正を行うものであります。

八重樫事務局長に説明させます。

八重樫事務局長。

事務局長 : 議会改革につきまして、取り組む項目は10項目ということで、別途資料のほうに①から⑩まで記載してございます。

そのうち、③議会のICTの推進、これがオンライン会議の導入でございます。

⑥議会の業務継続計画、議会BCP、緊急時災害時の対応です。

これらについては、昨年度から既に検討のほうを進められておりますので、速やかに今後進めることとしているところでございます。

資料2ページをお開きください。

オンライン会議の導入につきましては、委員会条例、会議規則を改正する必要があることから、事務局で改正案を作成したところでございます。

内容を協議いただき、9月通常会議に条例改正案を上程する方向で進めたいと考えてございます。

詳細について担当書記から説明いたさせます。

委員長 : 熊谷書記。

熊谷書記 : それではオンライン会議について説明させていただきます。

オンライン会議の開催につきましては、令和2年4月に、総務省がオンラインの方法による委員会の開催が可能というような見解を示しております。

このことを踏まえまして、オンライン会議を行うためには、条例等の改正が必要ということで、今年2月に、全国市議会議長会がオンラインを活用した委員会の開催について、必要な条例等の参考例を作成したところでございます。

他市におきましては、委員会条例のみを改正しているところ、あるいは、会議規則のみを改正しているところなどもあるようですけれども、事務局の案といたしましては、全国市議会議長会の条例等作成例に基づきまして、一関市議会委員会条例、それから、一関市会議規則の両方を改正する案を整理したところでございます。

改正の細かい内容につきましては、次ページ以降の資料のとおりでございますので、

今日は説明を省略させていただきますけれども、オンラインを活用した場合も出席したものとみなすということであったり、公述人、参考人などもオンラインで参加できる旨を規定しているところでございます。

1点だけ検討のポイントといたしまして、オンライン会議を行う対象の規定でございますけれども、全国市議会議長会では、感染症、それから災害の場合というようにしております。

一方、奥州市議会などにおきましては、感染症、災害に加えまして、議員の出産、育児、疾病等もオンライン会議を行う対象としております。

どちらがよいのかということで、今後、御検討をお願いしたいというように考えております。

事務局で作成した案につきましては、奥州市議会などの例によりまして作成しております。

それから、オンライン会議についてはありませんけれども、1か所だけ今回の改正に合わせまして、修正したい条項がございます。

会議規則の第45条、資料は6ページになります。

現状、左側になりますが、議会は委員会の審査又は調査中の事件について、特に必要があると認めるときは、中間報告をすることができるというようにありますが、これの主語と述語が合っていない状況にございますので、右側のとおり全国市議会議長会が作成しております標準会議規則に基づきまして、議会は求めることができる、それから委員会は、することができるというような形で修正をさせていただきたいというところでございます。

それでは資料2ページにお戻りください。

最後に今後の進め方のところですが、本日説明させていただいた事務局の素案につきまして、各会派等にお持ち帰りいただきまして、御検討いただきたいと思います。

次回の委員会で具体的な協議をお願いしたいと考えております。

最終的には9月通常会議での改正案の上程を目指したいというように考えているところでございます。

説明は以上です。

委員長：意見交換を行います。

いずれ、改正案については、タブレット上で、各委員のほうに示すということで、案を示していただきますので、各会派等で、その辺の御協議をお願いしたいと思います。

小野寺委員。

小野寺委員：今の状況については確認していないのですが、以前に確認した際には、各自、オンライン環境が整備になっているかどうかというのは、その辺の実態についてどのように把握していますか。

委員長：熊谷書記。

熊谷書記：以前ICTの推進に係るプロジェクトチーム会議でしたでしょうか、そちらのほうで実際に試験的にやっていたというような経過があるというように伺っております。

タブレットを活用しながら、オンラインでの会議は可能であるというようなところでございます。

もしくは一関市のほうでは、テレビ会議システムというのがございますので、出席できる議員は会場に来ていただき、出席できない方だけタブレット等を活用しながらオンラインで参加するというようなことも可能でございます。

委員長：栃澤書記。

栃澤書記：令和2年度にICTの活用推進プロジェクトチームで、全議員の自宅のオンライン環境、インターネットにつながっているかということ进行调查した資料はございますが、今、手元にはございません。

委員長：たしか、お一方かお二方が使っていないというだけでほかの人たちは参加できたということで、研修会でもそれをやってみんなできたので、もしくはその環境のない方には支所などに行って参加するというようなことも可能だということで、自宅環境だけではなくて、近くの公的な施設を使つてのオンライン参加だったような話ではなかったかと。小野寺委員。

小野寺委員：9月の通常会議での提案を目指すという方向での検討だと思うのですが、いずれその後の改選後に新しくなられた議員さんもおられると思いますので、その辺は丁寧に環境なり何なりを確認して、いざというときに、通じなくて結局、参加できなかったというような事態にならないような形での進め方をお願いしたいと思います。

委員長：事務局長。

事務局長：今回提案した内容、検討いただく条例規則等の改正は改正として、後はハード的な部分、実際にどのような形で、その会議が開催されていくのかということ、あるいは、今おっしゃっていただいたように新しい議員さん方の通信環境がどうかというのも並行して進めていきたいと考えてございまして、9月議会で上程する際には、ある程度そのあたりの実施のめどが立つような形まで何とかこぎ着けたいというように、事務局のほうでは考えております。

委員長：そのほかございますか。

(「なし」の声あり)

委員長：なければ、オンライン会議の導入に向けた条例規則の改正案については、各会派に持ち帰り、各会派内で確認いただき、次回の委員会で協議することといたします。

これに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

委員長：異議がないので、そのように決定いたしました。

以上で、議会のICT推進についての協議を終わります。

次に、議会の業務継続計画についてを議題といたします。

災害などの発生時における議会の行動指針などを定めるものであります。

事務局より説明いたします。

八重樫事務局長。

事務局長：業務継続計画は英語で言いますと、ビジネスコンティニュイティプランで、BCPと一般的には言われてございまして、市役所の中では既に作成されております。

災害等が発生したときに、業務の継続や復旧を図るための計画でございまして。

県内の他市議会においても作成が徐々に進んでございまして、現在14市のうち9市で作成済みでございまして。

当議会のBCP作成に当たりまして、骨子の内容を確認いただきたいと考えてございまして。

詳細については、担当から説明いたします。

委員長：熊谷書記。

熊谷書記：それでは資料9ページになります。

一番下の今後の進め方のところから説明させていただきます。

まず本日につきましては、議会BCP、こちらの骨子、どのような内容を盛り込むのかということについて、お示しさせていただき、御意見をいただきたいと思っております。

本日の御意見等を踏まえまして、事務局のほうで議会BCPの素案を作成いたしまして、次回の委員会でお示ししたいと考えております。

最終的には8月中旬に議会運営委員会の中で御決定をいただき、必要に応じて議員全員協議会などを開きながら、共通理解、説明をするということを進めたいと考えているところでございます。

それでは上のほうに議会BCPの骨子がございましてけれども、これも全国的にはほぼ同じような内容になっているところであります。

まず(1)として、対象とする災害等の規定、どのような災害の時にこの議会BCPが発動になるのかということ、それから(2)災害発生時の行動指針、議会議員、事務局の役割、それから(3)仮称になりますけれども、一関市議会災害対策連絡会議というような会議を設置することについてということでございます。

(4)災害発生時の行動基準、(5)災害発生時の議会の運営、(6)その他この計画の見直し等についてということで、こういった内容を盛り込んで素案を作成してまいりたいと考えているところでございます。

説明は以上でございます。

委員長：骨子案はいつ頃出すのですか。

熊谷書記。

熊谷書記：今日は骨子ということとも違うのですけれども、こういった中身で作っていききたいということで、1から6まで、こういった内容を盛り込みたいということを記載させていただきました。

これを肉づけするような形で次回に素案といいますか、たたき台を作りますので、それをベースにまた協議をいただければというように考えております。

委員長：それでは、骨子については、1から6の内容でということでの事務局案でございますけれども、皆様方には、この辺の骨子案の中身について、盛り込むべきものがほかにあるかどうかについて、御協議いただくこととなりますけれども、これについても各党派にお持ち帰りの上で、その辺は御検討願いたいと思います。

その上で骨子案を示して、BCPについては作成していききたいという考えですけれども、よろしいですか。

岡田委員。

岡田委員：議会BCPについて、今日の資料の中に、奥州市議会と久慈市議会の資料が添付されているのですけれども、これについては、何か考えがあってこれを添付しているのか。

例えば、先ほどのICTについては、奥州市議会と同等の内容になるというお話があったのですけれども、こちらのBCPについても何かこれに基づいた協議内容になるのかというようなことをお伺いしたいと思います。

委員長：熊谷書記。

熊谷書記：県内で策定している議会BCPの参考例ということで、二つほど挙げさせていただきました。

全国にはもっと様々な議会で作っているBCPがありますけれども、近隣の議会でこういった内容で作っているというのを御確認いただいて、内容的に一関市議会としてこういったことを盛り込んだほうがいいのではないかとか、そういったことを考える素材として、データを置いたというところでございます。

単にこの内容をまねるということではないということでございます。

委員長：事務局長。

事務局長：先ほどの案件と違いまして、こちらに関しては準則、いわゆる全国市議会議長会から示された内容があるわけでも何でもなくて、一から作っていかなくてはいけないのですが、作る基というのではなく、参考例になるということで、先行事例ということにつけ

させていただいたところです。

委員長 : そのほかございませんか。

(「なし」の声あり)

委員長 : なければ、この案件につきましても各会派にお持ち帰りの上、協議願いたいと思いません。

これに異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

委員長 : 異議がないので、そのように決定いたしました。

それでは、業務継続計画については、次回の委員会で具体的な内容について協議することといたします。

そのほか何かございませんか。

(「なし」の声あり)

委員長 : なければ、本日予定した案件の協議を終わります。

以降の議会改革の議会運営委員会につきましては、追って連絡を差し上げますので、よろしくお願ひしたいと思います。

以上で、本日の会議を終了いたします。

お疲れさまでした。

( 午後0時33分 終了 )